

外国語科学習指導案

- | | |
|---------|-----------------------------------------------------|
| 1 履修単位数 | 3 単位 |
| 2 実施日時 | 令和7年10月2日（木）第5時限 |
| 3 学 級 | 205HR（40名） |
| 4 使用教科書 | MY WAY English Communication II（三省堂） |
| 5 単 元 名 | Lesson3 Living with Nature – Takita Asuka’s Journey |

6 本単元で扱う領域における「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標（第2学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やりとり]	話すこと [発表]	書くこと
<p>■ ゆっくりはっきりと話されれば、短い簡単なメッセージやアナウンスの概要や要点を理解することができる。</p> <p>■ ゆっくりはっきり話されれば、身近な話題（旅行日程などの明確で具体的な事実）に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。</p> <p>■ ゆっくりはっきり話されれば、指示を理解することができる。</p>	<p>■ 日常生活において身の回りにある短い簡単な文章の要点を理解したり、必要な情報を読み取ったりすることができる。</p> <p>■ 簡単な英語で書かれた短い物語や伝記などを読んで、あらすじを理解することができる。</p> <p>■ 身近な話題に関して簡単な英語で書かれたガイドブックやレシピなど実用的・具体的で内容が予想できるものから、概要や要点を理解することができる。</p>	<p>■ 日常生活（郵便局・駅・店など）ならば、様々な語や表現を用いて短い簡単なやりとりをすることができる。</p> <p>■ 身近な話題について、ある程度準備をすれば、会話に参加することができる。</p> <p>■ 身近な話題について、簡単な英語でのやりとりをしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。</p>	<p>■ 身近な話題について、視覚的補助を利用しながら、簡単な句や文を使って説明をすることができる。</p> <p>■ 身近な話題について、簡単な語句や文を使って、自分の意見やその理由を簡単に話すことができる。</p> <p>■ 身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。</p>	<p>■ 日常的・個人的な内容を、短い簡単な英語でメモやメッセージなどを書くことができる。</p> <p>■ 身近な事柄について、簡単な語句や表現を用いて、短い説明文や日記を書くことができる。</p> <p>■ 聞いたり読んだりした内容（説明や物語）について、簡単な語句や表現を用いて、自分の意見や感想などを書くことができる。</p>

7 単元設定の理由

○教材観

本単元は、動物保護を中心に環境問題や平和、共生などの社会問題について説明している。ここで学習する背景知識や言語材料を用い、聞いたり読んだりしたことをもとに調べ学習をし、環境問題について伝えるのに適した題材である。言語材料としては、現在完了形・現在完了進行形を扱い、動物保護を中心に環境問題や平和、共生などの社会問題の現状について、現在までの状況やその理由などを、簡単な語句や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を簡潔に話したりする力を養うことができるものとする。

○生徒観

本学級の生徒は、「読むこと」、「聞くこと」に慣れ、「話すこと」にも意欲的に取り組んでいるが、

苦手意識を持っている者もいる。そのため、本単元では、環境問題について、視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を簡潔に話したりする力を養いたい。

○指導観

本単元は、環境問題について、簡単な語句や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を伝えたりするのに適した内容となっている。そこで「CAN-DO リスト」の「話すこと [発表]」に関する指導と位置づけ、簡単な語句や文を使って自分の意見やその理由を伝える方法を指導する。指導にあたっては、表現のための知識や技能を確認しながら実際の活動に取り組み、その活動の中で新たな表現や工夫に気付くことができるようにする。こうした学習の積み重ねを通して、自分の英語が相手に伝わるといふ達成感を味わえる言語活動を実現したい。

8 単元の目標

環境問題について、視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を簡潔に話したりすることができる。

9 単元の評価規準（「話すこと [発表]」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 自分の考え、意見などを伝えるのに必要な単語や表現等を理解している。 〈技能〉 自分の考え、意見などを伝える技能を身につけている。	環境問題について、視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を簡潔に話したりしている。	環境問題について、視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を簡潔に話そうとしたりしている。

10 指導と評価の計画（12 時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	評価			備考
		知	思	態	
1	■単元のテーマに対する生徒の興味・関心を喚起する。 ■単元の目標を理解する。 ①単元の内容に関する英文を聞き、単元のテーマや概要を理解する。 ②単元に関する動画を視聴して、内容を確認するとともに、感想をペアで話して伝え合う。				
2～3	■絶滅危惧種とその保護に取り組む筆者に関する説明文（Section1）を読んで現状を理解し、調べたことや考えたことを話して伝え合う。 ①絶滅危惧種について知っていることをペアで話し合い、さらにインターネットを利用して絶滅危惧種について調べ、クラス全体で共有する。 ②教科書を読み、絶滅危惧種の現状とその保護に向けた取組に関する情報をワークシートにまとめる。 ③まとめた内容をもとにして、本文の内容に関するインタビュー形式の「話す」活動を、ペアやグループで数回行う。				

4～5	<p>■絶滅危惧種を保護する団体の現状に関する説明文 (Section2) を読んで、物事に対して多様な観点があることを知り、考えや情報を論理的に話して伝え合う。</p> <p>①絶滅危惧種を保護する団体について知っていることをペアで話し合い、さらにインターネットを利用して具体的な取組やその理念を理解し、クラス全体で共有する。</p> <p>②教科書を読み、絶滅危惧種を保護する団体やその影響、様々な観点から物事を見る大切さについて知る。</p> <p>③調べた保護団体のメンバーになり、絶滅危惧種保護の重要性やその理由を小グループ内で話して伝え合う。</p>			
6～7	<p>■絶滅危惧種の保護活動に関する説明文 (Section3) を読んで、自分ができることを考え、話して伝え合う。</p> <p>①絶滅危惧種を保護するためにどんなことができるかペアで話し合い、その後クラス全体で共有する。</p> <p>②教科書を読み、絶滅危惧種を保護するうえでの課題やその解決策についてワークシートにまとめる。</p> <p>③世界の取組や筆者の活動を参考に、自分ができることを小グループ内で発表して伝え合う。</p>			
8	<p>■動物保護や環境保全に関するドイツの事例について調べ、その状況を知る。</p> <p>①関連する資料や動画を見て、来校する留学生の母国であるドイツが環境先進国であることやその事例を知る。</p> <p>②ペアで興味のあるドイツの事例を選択し、タブレットで調べ、紹介し合う。</p> <p>③調べた事例について、ドイツからの留学生への質問を考える。</p> <p>④日本での事例を紹介するため、関心がある活動や制度について情報をまとめ、ペアで話して伝え合う。</p> <p>⑤英語で質問したり、話を継続したりするのに必要な簡単な表現を学び、ペアで質疑応答の練習を行う。</p>			
9	<p>■ドイツからの留学生とインタビューや意見交換を行い、ドイツや日本の動物保護及び環境保全について理解を深める。</p> <p>①事前に考えた質問をもとに、ドイツからの留学生にインタビューをしたり、意見交換を行ったりする。学びや気づきを簡潔にメモに残し、それを参考に質問して会話を継続する。</p> <p>②日本での取組を紹介し、留学生の質問に回答したり、ドイツとの類似点や相違点を説明したりする。</p>			
10	<p>■絶滅危惧種の保護や環境保全に対して取り組みたいことについて、発表の準備をする。</p> <p>①現状や課題をまとめたスライドの作成を含め、自分ならどうするか、何ができるか、考えをまとめて整理する。</p> <p>②よい話し手と聞き手になるポイントについて映像で確認し、クラスで話し合う。</p> <p>③聞き返したり、質問したりする方法を練習する。</p>			
11	<p>■環境問題について、視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を簡潔に話したりする。</p> <p>①スライドを使いながらペアで発表し、聞き手からの質問に答えたり、説明を補ったりして考えや情報を話して伝える。</p> <p>②聞き手を変えながら何度も発表を行い、論理的で簡潔な伝え方を練習する。</p>			

一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間行う。

12	<p>■前時の活動を振り返り、気づきや学びを整理して、プレゼンテーションを修正する。</p> <p>①前時の発表活動で得られた新しい観点を含め、プレゼンテーションを修正する。</p> <p>②修正したプレゼンテーションをクラスで発表する。</p> <p>③プレゼンテーションを作る過程や発表を通して感じたことや学んだことを英文にまとめる。</p>				
後日	パフォーマンステスト	○	○	○	

1 1 本時の活動（第 11 時）

（1）目標

環境問題について、視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を簡潔に話したりする。

（2）展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
2分	1 本時の流れと目標を知る。	・電子黒板に目標を提示する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>To tell the opinion logically and respond questions properly.</p> </div>				
3分	2 プレゼンテーションのポイントを復習する。	・電子黒板に提示する。		
15分	3 ペアプレゼンテーションを小グループで行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各ペアは 3 分で発表するよう伝える。 ・聞き手は、必ず質問をするよう伝える。 	知 思 態	活動観察
5分	4 プレゼンテーションがうまくできたペアの様子を全体で確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動がうまくできたペアをモデルとして指名する。 ・論理的かつ簡潔に発表するためのポイントを確認する。 		
5分	5 プレゼンテーションの内容を整理し、ペアで話して練習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の様子を観察し、個別にフィードバックを行う。 ・考えや情報を整理して発表できるよう、個別に支援する。 		
15分	6 グループを変え、新しい小グループで再度、プレゼンテーションを行う。	・プレゼンテーションにおける表現の仕方や使用する語彙について観察する。	知 思 態	活動観察
5分	7 プレゼンテーション	・全体に共通する成果と課題を共		

	を振り返り、うまくできたことと改善点をペアで話し合い、クラスで共有する。	有し、より論理的かつ簡潔に考えや情報を話して伝えるためのポイントを再度、確認する。		
--	--------------------------------------	-------------------------------------------	--	--

(3) 評価及び指導の例（「話すこと [発表]」）

「十分満足できる」と判断される状況 (a)	絶滅危惧種の保護や環境保全について、視覚的補助を利用しながら、簡単な語（句）や文を使って説明をしたり、自分の意見やその理由を簡潔に話したりすることができる。
「おおむね満足できる」状況 (b) を実現するための具体的な指導	絶滅危惧種の保護や環境保全について伝えることができるよう、発表活動で用いる表現や語彙など言語面の支援を行ったり、事例を交えて内容面を補足したりして言語活動を支援する。
「努力を要する」状況 (c) と判断した生徒への事後指導	考えていることや伝えたいことを聞き取り、ともに英文に直したり、個々に発表の練習を支援したりしながら「おおむね満足できる」状況 (b) を達成できるようにする。